

モデル化した地球表面での熱・水蒸気非定常同時移動解析とシミュレーションと可視化

概要（2026年9月27日午後現在）

1. 前提：
北半球と南半球は、別々に扱う。
理由：北半球と南半球は、季節の廻りが違い、いっしょくたん、地球平均温度を設定することは、難しい。
2. 球面座標による半球での熱および水蒸気の独立型表面移動方程式の定式化
 - 水蒸気および熱の動径方向での非定常移動については、数学定式化完了
 - 球面ベッセル関数による数学的解析解導出完了
 - 水蒸気および熱の方位角方向での非定常移動については、数学定式化完了
 - ルジャンドル多項式による数学的解析解導出完了
3. 球面座標による半球表面での熱・水蒸気非定常同時移動方程式の定式化
4. ラプラス変換法及びフーリエ級数による数学的解析解
5. 数学的演算ソフトの Mathematica による数値解法
- 5、 経時変化のシミュレーションと可視化